

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年10月10日

【2017年9月30日～2017年10月6日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対米ドル、対円で小幅に上昇しました。また、2年国債金利も上昇しました。

週前半は、「ブラジル中央銀行が預金準備率引き下げを検討」との現地紙報道などを受けて、株式・為替が堅調に推移する一方で、金利は上昇しました。

週後半に入ると、テメル大統領の2回目の訴追に関連した政治的駆け引きの動きが強まりました。連立与党の足並みが乱れ、テメル大統領が訴追回避に必要な票数を容易には集められないとの懸念が浮上したため、為替は下落し、金利は大きく上昇しました。

経済指標では、物価関連指標(IPCAインフレ率)が発表されました。前年比のインフレ率は市場予想をわずかに上回る数字でしたが、依然としてブラジル中央銀行の物価目標レンジの下限を下回っていることには変わりなく、週末にかけて金利低下要因となりました。

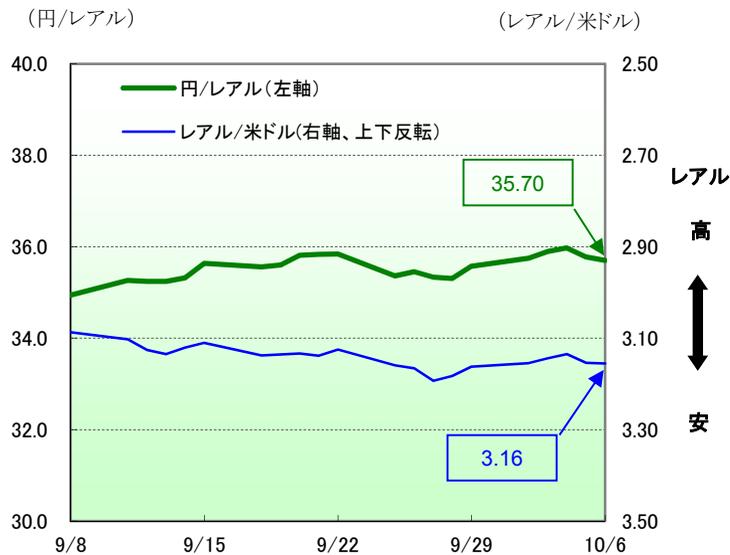
【2】今週の見通し

ブラジル金融市場は引き続き、テメル大統領の2回目の訴追に関する政治情勢に左右されやすい状況が想定されます。今週も同議案について下院委員会での審議が続き、下院本会議での最終的な採決は10月下旬となる見込みです。連立与党の足並みに乱れが生じてきていることは懸念されますが、訴追に関する採決は1回目と同様に否決されると見込まれます。ただし、テメル大統領の求心力は今後の構造改革や財政再建の成否に関わるため、採決における得票数には注目が集まります。

政府や議会が社会保障改革などの構造改革を着実に進める場合は、ブラジル経済に対する信認改善や利下げによる景気回復と相まって、レアルの下支えになると期待されます。

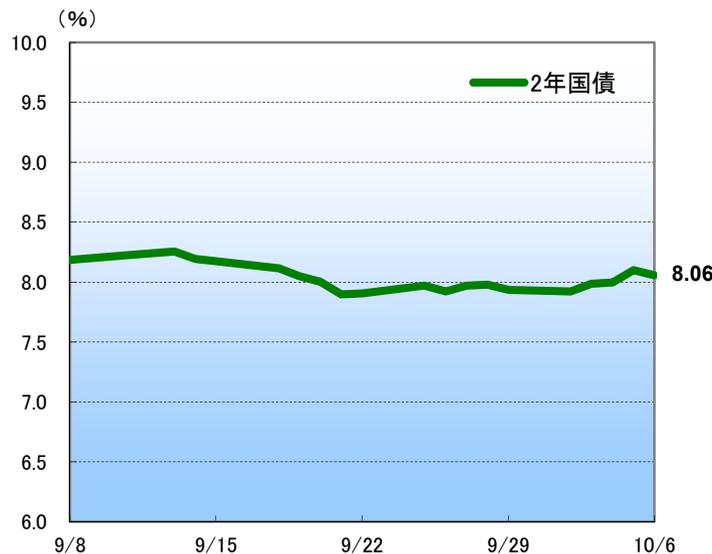
経済指標については、景気回復の行方を占う上で小売売上高の発表が注目されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年9月8日～2017年10月6日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年9月8日～2017年10月6日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management